

第2回津島市第8期高齢者福祉計画・介護保険事業計画策定委員会 議事概要

令和2年3月24日（火）

午後2時から午後3時まで

津島市役所 5階 第1委員会室

出席委員：伊藤委員長、永縄委員、大鹿委員、片岡委員、濱田委員、
三輪委員、日比委員、石原委員、服部委員、太田委員、安井委員

欠席委員：平野副委員長、奥田委員、山本委員、岩瀬委員

傍聴人数：2名

<次 第>

1 開 会

2 議 題

- (1) 第8期津島市高齢者福祉計画・介護保険事業計画アンケート調査結果について（資料1、資料2）
- (2) その他（資料3、資料4）

<会議録>

- (1) 第8期津島市高齢者福祉計画・介護保険事業計画アンケート調査結果について

○事務局より、資料2の説明

委 員： コロナの影響が大きい時期であるが、密閉空間で会議していいのか。

委 員： あまり密集していないので、この程度の密度ならそこまで心配はないのではないかと思います。

委 員： 今日は何時までの会議なのかも明示されていない。資料は事前配布されているのに、この場であらためて説明しているのはどうかと思う。窓を開けるとか、環境に配慮するべきではないか。先日、会議があったが、あらかじめ厚着をしてくるよう依頼しておき、窓を開けて開催した。そういう対応も必要ではないかと思う。

事務局： この会議は1時間程度を予定している。本日は、事前に部屋の消毒をし、会議開始までの時間、換気する対策を講じた。

委 員： P12に、認知症施策を1つも知らない人が65.7%いる。知られていないことがとても残念。お知らせする努力をどの程度しているのかということだが、紙媒体だけでなくWebなども活用す

べきだと思う。しかし、市の HP 上での情報発信はいまだに十分ではなく、3年前から更新されていない状態。そうした部分を改善していくべきだと思う。

事務局 : ご意見を踏まえて検討したい。HP など、今すぐ変えられる部分は、すぐにやっていきたい。

委員 : 現在の周知の具体的な方法は何か。

事務局 : 認知症家族交流会については広報で年1回周知している。認知症初期集中支援チームや家族交流会については、HP で周知している。その他、認知症サポーター養成講座や認知症カフェについてはチラシを配置して配布している。

委員 : 包括などでは、認知症に関係する方に案内するなどの取り組みはされていないのか。

事務局 : 地域包括支援センターの職員も、オレンジサポーターなどは周知している。認知症初期集中支援チームなども、必要な人には案内している。

委員 : アンケート結果の、市の認知症施策を「1つも知らない」という人は、認知症に関係ない人も含めた割合ということですね。

事務局 : はい。元気な高齢者も調査対象に含まれている。

委員 : P15には、介護離職などが多い中で、在宅で介護を希望する人が増加しているとまとめられているが、介護サービスの利用料が高くて使えないというような実態はないのか。そうした点はアンケートで把握されていないのか。

事務局 : そうした趣旨の質問は、今回のアンケートでは設けていない。

委員 : 移動手段がないために参加できないという現状もあると思う。そうした部分への支援、なるべく近くで、歩いて行ける範囲で開催する等も検討してほしい。

事務局 : 庁内の専門部会の中でも、外出支援については取組める部分があるのではないかと考えている。市民協働課からは、サポカーの補助金の検討などについての話があった。

委員 : システムの関係で市の HP の情報が3年以上更新されていないという話があったが、そんなことはありえない。どういう対応をされていたのか。

事務局 : 現状を把握できていないので、あらためて確認をさせていただき、更新させていただきたい。

委員 : こうした場での委員からの指摘は重要なことなので、すぐに対応していただきたいと思う。

事務局 : 先ほど、介護サービスの利用料が高くて使えないというような実態を把握する項目を今回のアンケートでは設けていないと説明したが、資料1の P76 には「介護保険サービスを利用していない理由」という問いを設けており、その中で「利用料を支払うのが難しい」という選択肢を設けている。

(2) その他

○事務局より、資料3、資料4の説明

事務局： 次回は、令和2年7月頃を予定している。日程は、あらためて調整させていただく。